

男子

女子

中

高

大

神奈川県横浜市

桐蔭学園小学部

【理事長】平岩 敬一

【校長】澤本 敦

〒225-8502 神奈川県横浜市青葉区鉄町 1614 TEL 045-972-2221(直通) <http://toin.ac.jp/ele/>

【交通】東急田園都市線市尾駅・青葉台駅・あざみ野駅、小田急線柿生駅よりバス（スクールバス発着 江田駅、柿生駅）

心の通った 英才教育をめざして

「まこと」をつくり「強い意志」を養う

校訓：すべてのことに「まこと」をつくそう

最後までやり抜く「強い意志」を養おう

教育理念：「能力とは努力の成果である」⇒「育て、伸ばし、鍛える」

「自ら考え、判断し、行動できる子どもたち」を育てる

今後、世界はグローバル化が進み、人類の未来のために何ができるのかという視点で考え、行動することがますます求められるようになります。

桐蔭学園は、2014年に創立50周年を迎えました。この間、「育て、伸ばし、鍛える」ことで世界に貢献できる人材を育成してきました。この50周年を機に、新しい時代を見据えたさらなる進化を目指し、幼・小・中・高一貫教育をさらに徹底する取り組みを始めています。

中学校（男女）、中等教育学校（男子）との一貫性ある授業計画

国語・算数・英語 ●授業時数をたっぷりとり、基礎事項・重要事項をしっかりと身につけさせます。5・6年生からは習熟度別レッスン授業を導入し、学習内容の精選を行って、中学・中等教育学校との一貫性を図っています。

科学 ●実験・観察を中心とした内容で、3～6年生で行う理科教育です。

総合 ●教科の枠にとらわれず、児童が主体的に学習していく場です。分からないことをどのように調べるか、自分の考えが妥当かどうか、どう吟味したらよいか等の応用力・判断力を養います。

英語 ●全学年、英語が正式教科になっており、週2時間行っています。低学年では歌、ゲームを中心に、高学年ではヒアリング、初歩の文法を学び中学へとつなげます。5・6年生では中等教育学校の先生による授業もあります。全学年でネイティブによる授業を導入しています。

コンピューター ●1年生から基本的な操作を学びます。Windowsを中心に学習しています。独自のソフト作成、電子メールによる情報交換、インターネットの活用や、LEGO ロボットを使った制御プログラム学習にも力を入れています。6年生では、卒業制作としてオリジナルのホームページ作りを行います。

上級学校に進むには

一貫教育を実施しており、全員が上級学校に進学できるシステムをとっています。

真の意味の知育・体育・徳育を行います

理事長 平岩 敬一

私学の良さを発揮したいと念じて設立した桐蔭学園は、昨年創立50周年を迎えました。独自の教育内容と成果につきましても、広く世の評価を受けるようになっております。

学園の校舎・施設・設備など教育のハード面は、理想に近く充実しております。それらを駆使して成果をあげるためのソフト面もより以上の充実をめざし、確実に実践していく、その集大成が、桐蔭学園なのです。これからも真の意味の知育・体育・徳育を行ってまいります。



沿革

昭和39年、学校法人桐蔭学園が設立され、同年に高等学校の設立が認可された。同40年には中学校が、翌41年には小学部の設立が認可、その後も幼稚部、大学、中等教育学校が設立され、幼稚部から大学院に至る本格的な総合学園として確立された。

2016年度募集要項

募集人員：【第1回】男女約80人（男女比なし）
【第2回】若干名

出願期間：

【第1回】10月3日（土）10:00
～10月16日（金）16:00
【第2回】10月24日（土）10:00
～11月9日（月）13:00

出願手続き：インターネット出願のみ

受験料：25,000円

試験日：【第1回】10月21日（水）

【第2回】11月13日（金）

選考内容：知能テスト、集団観察テスト、面接テスト

合格発表：【第1回】10月22日（木）

【第2回】11月13日（金）

【かかる費用】

入学金：310,000円

授業料：612,000円

初年度納入金合計：1,509,600円

併設中学進学状況

◆桐蔭学園中学校（男子50人、女子45人）

※原則として希望者全員が進学可能

◆桐蔭学園中等教育学校（男子46人）

※成績等が基準に達した者は全員が進学可能

データパック

児童数866人／教員数67人

15年度応募者数：男子165人、女子69人

合格者数：男子73人、女子34人

【併設校】

○桐蔭学園幼稚部

○桐蔭学園中学校・高等学校

○桐蔭学園中等教育学校

○桐蔭横浜大学